

# 1 年学年だより

金沢市立金石中学校  
1 年学年会  
第 3 号 2026.6.9

## ～オーケストラ鑑賞会～

6月2日（火）石川県立音楽堂にて金沢市内中学校1年生を対象とした、オーケストラ鑑賞会が行われました。指揮者の松井慶太さんから楽器の詳しい説明を聞いて、それぞれの楽器が持つ音の違いを確かめ、音楽堂ならではのパイプオルガンの音色に心を奪われました。

特にMrs. Green Appleメドレーでは、知っている曲も多く、みなさん楽しみながら演奏を聴くことができました。指揮者体験では、2組の山田晴登さんが、「ブラームス作曲 ハンガリー舞曲第5番」の指揮をしました。

### 《鑑賞会を終えて》

僕は、石川県立音楽堂には、初めて行きました。すごく広い場所でとてもおどろきました。プロの演奏はやはり全然違うように感じました。僕が一番心に残った音楽は「春」です。他の音楽もとてもすばらしいと思いましたが、僕は「春」がすごいと思えました。理由は、弱いところは少しずつ雪がとけて、植物が芽を出し始める様子が想像できました。逆に、強いところは新しい季節で風が強くなりながらも耐える植物の様子が想像できました。ラストは、暖かい太陽の姿が想像できました。この春の様子が伝わってきたから、心に残りました。（濱田侑也さん）

いろいろな楽器を見て紹介されて、興味を持てたし、特に金管楽器の音色も良かったし、見た目も興味を引きました。曲はやっぱり知っているミセスの曲が印象に残りました。曲をミックスして3曲演奏しているのも良くて、それぞれの音色と曲調が活かされて、素敵だったから心に残りました。最後も知っている曲でスマホや画面越しでしか見たことがなくて、生で聞いたときは、演奏者たちが輝いていて、やっぱり生と画面越しでは違うなと感じました。また、機会があればオーケストラなどを聞いてみたいなと思えました。表情も皆キラキラしてたし、体の動きも表現に加えて素敵だと思えました。（山口七愛さん）

なかなか生の演奏を聞く機会はないけれど、今回聞いて、普段テレビやケータイなどで聞いている録音されたものとは違い、とても迫力があってとても心に響きました。一つの演奏でもよく聞くと何個かの楽器が違う音を奏でていて、すべて合わさることで、一つの曲になっていて素晴らしいものだと思えました。楽器の説明では、どれもわかりやすくよくできているなと思ったのですが、特にパイプオルガンが見えるだけでも数えきれないほどのパイプがあるのに、さらに二階にもつながっていて、一つの楽器で複数の楽器の音がして、音楽はとても面白いものだと思えました。（渡邊心さん）

今日は、とてもすてきなオーケストラを聞かせていただきありがとうございました。ずっと演奏している訳ではなく、途中から楽器の説明だったり、生徒が指揮者をしたりなど、見て楽しかったし、とてもいい思い出になりました。そして、指揮者に合わせて楽器を演奏する方たちは、とてもそろっていて楽器一つ一つの音色を聞くのが、とても楽しかったです。指揮者の方や司会の方もとても明るい方で、自分も笑顔になりました。知っている曲をたくさん演奏していただいて、聞くのが楽しかったし、曲について詳しく説明してくれてうれしかったです。自分もみんなの前で輝ける人になれるといいなと思えました。（栄田結羽さん）

私は、初めて生でオーケストラの演奏を聞いたけれど、とても感動しました。特に、指揮者と演奏する人が一つになり、曲の終わりには、ピタッと止まるところがすごかったです。そして、オーケストラに行く前は音楽に興味がなかったけれど、演奏を聞いたり指揮を実際に体験したりすると、音楽について興味が出てきました。また、音楽は指揮を振る人によって変わるという言葉聞いて、音楽は特別と感ずることができました。また、機会があれば演奏を聞きたいです。（荻野結衣さん）

私は、音楽が大好きだからとてもうれしかったです。特に、印象に残っているのは「運命」です。一つ一つのパートで音楽を作っている感じがして、すごくきれいでした。もう一つは「ダンスホール」です。他の学校の間みなとも音楽でつながって盛り上がるのができて楽しかったです。すてきな音楽を聞かせてくれてありがとうございました。あとびっくりしたのが、パイプオルガンがとても大きかったことです。音もめちゃくちゃきれいで、ワクワクしました。エレクトーンを習っていたので、「あんなふうになりたい」と思いました。この演奏を聞いてやっぱり音楽はすてきなものだと思えました。これからも音楽と一緒にがんばっていきたいです。(山口藍さん)

私は、テレビでしか見たことがなく、生の演奏を聞いてみて、凄く心が落ち着き、心が満たすくらいとても素敵な演奏だと思えました。私は、全部素敵な演奏だったけれど、特に一番心を動かされた演奏は、ブラームス「ハンガリー舞第5番」が一番心に残りました。最初は低音で、そしてサビに近づくにつれて、全楽器mfになり、上がり下がりがとても激しい所が心に残りました。何回か聴いたこともある曲ばかりだったけれど、舞台上で聴くのはなかなかないので、うれしかったです。(大和貴彩夏さん)

オーケストラ鑑賞会では、普段あまり聞くことのできない生のオーケストラを聞くことができ、テレビなどで聞くより、ものすごく迫力がありとても心に残りました。また、演奏者と指揮者が息をぴったり合わせて演奏している姿がとても印象的でした。指揮者の松井さんが、とてもわかりやすく丁寧に説明をしてくれすごくわかりやすかったです。春日さんのオルガンの演奏がものすごくきれいな演奏でした。あまり、経験したことのない新しい経験だったので、すごく楽しかったです。特に、手拍子をしてみんなで心を合わせることができ、うれしかったです。またいつか聞きたいと思えました。(越戸葵夏さん)

初めてのオーケストラ鑑賞会は、想像以上に迫力があって音色でした。生で見たとき、テレビで見るときよりも演奏者の熱気も感じられました。みんなの手拍子で心をつにしたときは最高に楽しかったです。松井さんの楽器の説明がわかりやすかったです。パイプオルガンは大きくて音も大きくてより迫力がありました。演奏を聞いていたら、あっという間に終わっていて、もっと聞いていたかったです。指揮で音の強弱をかえたり、ゆっくりしたり速くしたりと指揮者には、演奏の中心となることがわかりました。(田井毅さん)

石川県立音楽堂のオーケストラ鑑賞会を聞いて、プロの演奏によりテレビより迫力がありました。また、すごく響きあっていて、ものすごく時間が短かったです。金管楽器や木管楽器、弦楽器など様々な楽器を詳しく知ることができ、指揮者の役割も知ることができました。パイプオルガンでもトランペットやフルートなど様々な楽器の音色を出せるのがあるとわかりました。この機会を得て、音色にも少し興味を持ち、思い出に残りました。(石田悠翔さん)

私は、オーケストラ鑑賞会でのラモアの「優雅なインドの国々より《未開人の踊り》」が印象に残っています。聞いたことのある曲で、迫力があり、音も動きもそろっていて、ずっと聞いていたくなるようでした。手拍子をしているとき、「自分も、このすてきな音楽をつくる一員になれているんだ」と思い、うれしくなりました。会場全体が一丸となって音楽をつくりあげることが、本当にすてきなことなんだと改めて感じました。吹奏楽部に入ってから、より音楽に興味をもったので、本当にたのしくて、時間が過ぎるのがあっという間でした。(折戸小春さん)

私は、オーケストラ鑑賞会での、楽器の響きが、まだ耳から離れません。指揮者とステージにいる演奏者が一体となって演奏している姿はとてもかっこよく、音色もすごくきれいで、心底すごいと感動しました。特に、印象に残った曲は、交響曲第5番「運命」の第一楽章で、はじめの有名な音の迫力がとてもすごく、胸を打たれました。指揮者体験のときには、実施に指揮をするときはとても難しいことなんだと遠くから見てもよくわかりました。でも、できるようになったらすごく楽しいだろうし、指揮者によって演奏の仕方が変わると思うと、音楽は奥が深いものなんだと思えたし、オーケストラにもとても興味を持つことができました。(河江羽美さん)